



第六十号 平成二十五年五月一日（水）発行

作左の会新年度スタート

一筆啓上・作左の会総会
が、去る四月十三日（土）
学区市民ホームで五十余
名の出席者を迎えて開催
されました。今年は名誉会

域に広めて、地域の歴史や
文化を元にした町興し活
動を活発にしたいとの話
がありました。

長であるご当主の本多靖
司様にご出席いただき会
を盛り上げいただきまし
た。

本年度の活動としては、
「会員の継続と新会員の
増加」を目指すとともに、
三大事業として「作左ゆか
りの地研修旅行」、「ふるさ
と賞」「写真史の発刊」を

の活動が報告され、役員が
改選・承認されました。兵
藤紀之会長があいさつで、
作左の思いやりの心を地

充実したいとの提案があ
りました。なお、写真史は
二年後の平成二十六年
度の発刊を目指して「ふるさ

と六ッ美西部写真史の編
集」に本格的に取り組むこ
とが承認されました。

来賓として、岡崎市議
議員柵木誠様、西部小校長
小田昌男様、JAあいち三
河農協井内支店長山本予
司男様、岡崎市六ッ美商工
会会長市川文勇様がご臨
席いただきました。来賓を
代表して柵木誠様から会
の活動に対してお祝いの
言葉を頂きました。

引き続き講演があり、
郷土史研究家で岡崎地方
史研究会幹事の奥田敏治
氏が、演題『三河一向一揆
と本多氏』のお話をしてい
ただきました。本多作左衛
門が仕えた徳川家康が岡
崎城主になったばかりの
頃の話で、浄土真宗と家康

が対立して三河一向一揆
が起こりました。本多作左
衛門が一揆側と徳川家康
との間を取り持ち、活躍し
た話をお聞きしました。講
演時間が短くもう少し話
を聞きたい思いでした。

最後に、懇親会が持たれ、
参加者同士の話が弾み、交
流を深める事が出来まし
た。



「三河一向一揆と本多氏」
の話をする奥田敏治氏